

仕 様 書		仕様書番号	S-180900C01～C04		
		図面番号	S-180900C01	設 変	c
製 品 名	102-TS形 試験配線盤	制 定 日	2019/02/01	改訂日	2020/07/02
		作 成 部 門	商品開発部		

1. 概要

本製品は、外線と局内の切り分けならびに切り替えに使用するための、10回線用の配線盤です。専用保安器の実装が可能です。

MDF等の設計が容易となるよう、製品縦方向寸法を他端子板と同寸法としています。

2. 環境特性

2.1 使用場所	屋内
2.2 定格使用・保管温度	-20℃～85℃
2.3 定格使用・保管湿度	95%以下（結露のないこと）
2.4 振動条件	1.5G以下
2.5 気圧	2000m以下
2.6 汚損度	汚損度3

3. 構造

3.1 外観・構造・寸法

外観・構造・寸法については、表 1に示す外観図と構造図S-180900K01によります。

表 1 外観図番号

図面番号	図面名	端子形状	SPDの有無
S-180900A01	102-TS形試験配線盤 はんだ-ラッピング端子 外観図	はんだ端子 —	なし
S-180900A02	102-TS形試験配線盤 はんだ-ラッピング端子 SPD付 外観図	ラッピング端子	あり
S-180900A11	102-TS形試験配線盤 はんだ端子 外観図	はんだ端子 —	なし
S-180900A12	102-TS形試験配線盤 はんだ端子 SPD付 外観図	はんだ端子	あり

注意) ラッピング端子は、はんだ付けも可能ですが、はんだ端子にラッピングはできません。

3.2 表示

製品本体に以下の項目を表示します。

(1) 製品形名 (2) 製造者名または商標 (3) 製造ロット番号

3.3 付属品

示名条片

仕 様 書		仕様書番号	S-180900C01~C04		
		図面番号	S-180900C02	設 変	c 頁 2/4
製 品 名	102-TS形 試験配線盤	制 定 日	2019/02/01	改訂日	2020/07/02
		作 成 部 門	商品開発部		

4. 準拠規格

本製品の準拠規格を表 2に示します。

表 2 準拠規格

規格番号	規格名称
JIS C 8201-1:2007 IEC 60947-1:2004	低圧開閉装置及び制御装置－ 第1部：通則
JIS C 8201-7-1:2016 IEC60947-7-1:2009	低圧開閉装置及び制御装置－ 第7部：補助装置－第1節：銅導体用端子台
JIS C 5402:1992	電子機器用コネクタ試験方法

5. 電気的および機械的特性

本製品の電気的および機械的特性を表 3に示します。

表 3 電気的および機械的特性

項目	条件	性能	備考
定格使用電圧	—	DC500V	JIS C 8201-1
定格使用電流	—	11A	JIS C 8201-1
定格インパルス耐電圧	端子間 端子－接地間	1.2/50 μ s 4kV	JIS C 8201-1
定格断面積	ラッピング端子	単線 最大 1mm 1本	JIS C 8201-7-1
	はんだ端子	より線 最大 0.75mm ² 1本 単線 最大 1mm 1本	
絶縁抵抗	端子間 端子－接地間	DC500V 50M Ω 以上	JIS C 5402
耐電圧	端子間 端子－接地間	AC500V (50Hz/60Hz) 1分間	JIS C 8201-1
接触抵抗	入出力間 DC100mA	0.1 Ω 以下	JIS C 5402
短時間耐電流	入出力間	AC90A 1秒間	JIS C 8201-7-1
温度上昇	入出力間 定格使用電流にて	45K以下	JIS C 8201-7-1
SPD挿抜回数	—	50回	JIS C 8201-7-1

注) 性能測定時の温度・湿度は、JIS Z 8703 (試験場所の標準状態) の標準状態温度20 \pm 15 $^{\circ}$ C、標準状態湿度65 $^{\circ}$ C \pm 20%によります。

注) ラッピング端子ははんだ端子と同じ定格断面積の電線をはんだ付けすることが可能です。

仕 様 書		仕様書番号	S-180900C01~C04		
		図面番号	S-180900C03	設定 c	頁 3/4
製品名	102-TS形 試験配線盤	制定日	2019/02/01	改訂日	2020/07/02
		作成部門	商品開発部		

6. 環境特性

本製品の環境特性条件を表 4に示します。

表 4 環境特性

項目	条件	時間
高温保存試験	Ta=85±2℃	1,000時間
低温保存試験	Ta=-20±3℃	1,000時間
定速温度変化試験 (JIS C 60068-2-14)		30サイクル
振動試験 (JIS E 3014) 2種B種を参考	共振試験 振動数範囲 10~500Hz 加速度複振幅 1.5G	1oct/min 3軸
	振動耐久試験 a) 共振のある場合 ①の共振振動数・複振幅で行った後②の振動数・加速度複振幅で行う。 ①共振振動数 下記式で求める $2\alpha = \frac{4\pi^2}{1000} \times 2a \times f^2 \approx 2a \times \left(\frac{f}{5}\right)^2$ ここに、 2α: 加速度複振幅 (m/s ²) 2a: 複振幅 (mm) f: 振動数 (Hz) 複振幅 2α mm ②振動数 40Hz 加速度複振幅 2G	①38分/3軸 ②110分/3軸
	b) 共振のない場合 振動数 40Hz 加速度複振幅 2G	2.5時間/3軸

仕 様 書		仕様書番号	S-180900C01~C04		
		図面番号	S-180900C04	設 変	c
製 品 名	102-TS形 試験配線盤	制 定 日	2019/02/01	改訂日	2020/07/02
		作 成 部 門	商品開発部		

7. 検査条件

電気的および機械的特性、外観および寸法の検査を表 5に示します。

表 5 検査の方法

番号	項目	検査の種類	品質判定基準
1	定格使用電圧	形式検査	5項によります
2	定格使用電流	形式検査	
3	定格インパルス耐電圧	形式検査	
4	定格断面積	形式検査	
5	絶縁抵抗	全数検査	
6	耐電圧	形式検査	
7	接触抵抗	全数検査	
8	短時間耐電流	形式検査	
9	温度上昇	形式検査	
10	SPD挿抜回数	形式検査	
11	高温保存試験	形式検査	6項によります
12	低温保存試験	形式検査	
13	定速温度変化試験	形式検査	
14	振動試験	形式検査	
15	外観・構造・表示	全数検査	3項によります
16	寸法	抜取検査	

注1) 抜取検査は、原則としてJIS Z 9015 (計数値検査に対する抜取検査手順) の一回抜取り、なみ検査とし、通常検査水準 I によるAQL=1.0とします。

注2) 形式検査は、新規製作時及び重要な材料、製造方法を変更したときに、生産工程にのせた第一ロットについて1台以上実施します。ただし、同種の製品で性能が確認されている項目については、省略することがあります。

8. 梱包

8.1 梱包状態

製品の輸送中に、容易に変形や損傷が発生しないように梱包します。

8.2 表示

(1) 製品形名 (2) 製造者名または商標 (3) 製造ロット番号

9. 品質保証期間と保証内容

本製品の保証期間はご納入日より1年です。この間に発生した故障は、原因が明らかに当社の責任と判断された場合には、現品に限り良品と交換いたします。なお、交換等に発生する費用につきましてはご容赦願います。

また、本製品は厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、あるいは輸送中の事故等による故障と思われる節は、お買い上げいただいた代理店または各支店にお申しつけください。